

○丹波焼の保存と活用の推進 **新規**

「陶の郷」の改修に伴い、展示・解説を充実したものとするため、登窯跡の調査を実施します。



県指定丹波立杭登窯

## 4-4 文化・芸術の振興

○丹波篠山市展の開催 **継続**

第20回目を迎えることから、記念リーフレットの作成など、節目の回にふさわしい取り組みを実施します。



丹波篠山市展  
(入選作品講評)

○交響ホール主催事業の実施 **継続**

文化芸術の鑑賞や発表の場として、市民みんなが「感動」できる拠点として、市民のニーズに沿った魅力ある優れた公演を実施します。

### 施策の基本方向5 郷土を愛し誇りに思う人材育成の推進

## 5-1 ふるさと丹波篠山を愛する心の育成

○「ふるさと教育」の推進 **継続**

地域の人々とのふれあいを通して、児童生徒が伝統、文化、自然、産業、食文化などを学び、ふるさとへの誇りと愛着心を育む「ふるさと教育」を推進します。



ガラス工房の見学

## 5-2 学校給食の充実と食育の推進

○農都のめぐみ米・地元食材を活用した学校給食の充実 **拡充**

学校給食の米飯に、丹波篠山産コシヒカリの中でも生き物や自然環境にやさしい栽培方法で作られた「農都のめぐみ米」を100%使用します。また、地元野菜の安定的な使用および地元食材の活用率向上に取り組むとともに、有機栽培野菜もできるだけ取り入れます。物価高騰が続く中、現行給食費では不足する経費については、保護者負担を増やさず、学校給食の質を維持して提供することで子育て支援を図ります。

○食育推進活動の充実 **継続**

子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるように、学校園で開催される給食試食会や栄養教諭による食に関する指導、給食メニューの調理体験を通し、学校・家庭・地域への食に対する理解を深めます。



有機栽培農家による食育授業



丹波篠山の教育の  
詳細はこちらから

## 令和6年度 丹波篠山の教育 (概要版)

発行 丹波篠山市教育委員会 (兵庫県丹波篠山市北新町 41)  
問い合わせ 丹波篠山市教育委員会 学校教育部 教育総務課 (TEL 079-552-5709)

# 令和6年度 丹波篠山の教育

## 概要版



里山での遊び

### 教育理念

## 「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」

～子どもが自ら学び、地域とともにある学校づくり～  
～学びの機会を充実し、生き生きと活躍できるまちづくり～

丹波篠山市教育委員会

## はじめに

変化の激しい予測の困難な時代に、主体的に人生を切り開き、人生で出会うさまざまな問題に積極的に立ち向かい、よりよい解決を図って人生を生き抜いていく力の育成と、人生100年時代を心豊かに多様な人々と協働しながら、しあわせ多き人生を送る環境づくりや施策展開を図っていきます。

丹波篠山市では、『しあわせ多き ふるさと丹波篠山を担う』(市教育大綱)、『一人一人が光り輝き、生きがいをめざす』(市教育振興基本計画)の基本理念に基づき、『自らの夢や志を持ち、自ら学び考えて行動し、明日の丹波篠山や世界を担う人財』の育成に向けた教育に取り組んでいます。

学校教育においては、ICT環境の整備・活用や少人数によるきめ細かな指導体制による「個別最適な学び」と、ふるさと教育を柱とした探究的な学習や体験活動を通じた「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に引き続き取り組んでいます。また、阪神・淡路大震災や東日本大震災、能登半島地震などの経験や教訓を踏まえ、さまざまな自然災害から自らや仲間の生命を守るため、地域の災害特性を理解した上で正しい知識や技能を身につけ、主体的に判断し、行動する力を育み、防災教育・防災体制の充実を図ります。さらに、丹波篠山の特性を生かして、豊富な「自然体験」(農業体験や川の生き物調査など)や「地域活動体験」(祭りや地域行事への参加など)を大事にする「令和の丹波篠山型学校教育」を一層発展させ、市内外への発信に努めます。また、少人数を生かしたきめ細かな指導で、一人ひとりの資質を伸ばし、子どもの困りごとに寄り添い、「誰一人取り残さない」教育の実現をめざします。

また、学校教育に加えて幼児教育や社会教育、芸術・文化・スポーツなどあらゆる分野において、心身ともに健康で社会的にも良好な多面的幸福が持続する状態「ウェルビーイング(Well-being)」の実現を目標に、基本的な生活習慣づくり「眠育、食育、遊び」、ICTの有効活用、自分らしく生きるキャリアプラン、インクルーシブ教育、コミュニティ・スクール、ふるさと教育、スポーツ・文化・芸術の振興、文化財の保全活用などの施策を展開するとともに、個人のウェルビーイング(幸福)と社会のウェルビーイング(幸福)が相互に循環して互いに高め合う「助け合い・つながり合う」共生社会の実現をめざします。

子どもから大人まですべての市民の学びの機会を充実させ、生き生きと活躍できるまちづくりに努めてまいりますので、皆さんのご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

丹波篠山市教育長 丹後 政俊

## 施策の基本方向1 子どもの根っこを育てる乳幼児教育の推進

### 1-1 “子育ていちばん”に向けて

#### ○就学前の保育環境の整備 継続

待機児童対策の一環として、遠距離通所に係る補助を行います。保育士人材などを確保するため、保育現場で働きたい人を対象に「保育・教育就職フェア」および「園見学バスツアー」を実施するとともに、保育士資格等の資格取得に係る通信教育講座の受講料などについて10万円を上限に助成します。

令和6年7月には「こんだ認定こども園」を開園するとともに、城東保育園・かやのみ幼稚園を統合、令和8年度中の開園をめざし、(仮称)城東認定こども園の新築整備を行います。また、預かり保育施設「こどものおしろ」の開設から3年が経過するにあたり、改めて、篠山・たまみず・岡野幼稚園区における保育・教育のあり方の検討を始めます。



安全な園給食の提供

### 1-2 子どもの根っこを育てる環境づくり

#### ○食育の推進 継続

食習慣の基礎を決定づける大切な時期に、保護者と連携しながら食育を行います。社会情勢に伴う物価高騰により、現行給食費では不足する経費については、保護者負担を増やさず公費で負担し、園給食の質を維持して提供します。

## 1-3 乳幼児教育の充実

#### ○諸感覚を発達させる保育・教育活動 拡充

子ども\*1の誕生を祝うとともに、乳幼児期から豊かな感性と自然への愛着を育むため、丹波篠山産材を使った積み木セット「丹波篠山 森からのおくりもの」を誕生祝い品としてプレゼントします。

\*1対象は令和6年4月1日以降に生まれたお子さんで、4カ月検診時に本市に住民登録をされている方。



## 1-4 子ども・子育て支援の体制づくり

#### ○子育てふれあいセンターの運営 継続

市内在住の2カ月から就学前の子どもを育てる保護者の学習の場、仲間づくりの場を提供します。また、豊かな自然の中で自然遊びや集団遊びを通して社会性を育むことができる親子体験プログラム「たんばささやま森のようちえん」を実施します。



たんなん子育てふれあいセンター

#### ○子育ていちばんPR 拡充

子育て施策やイベントなどの啓発活動を積極的に行います。「丹波篠山市子育て支援アドバイザー」を新たに設置し、市民や子育て支援団体とともに、子育ていちばんの取り組みを充実していきます。また、市内の子育て支援団体と連携し、遊びを通じて親子の絆を深める機会を提供するとともに、丹波篠山の子育ていちばんの取り組みを発信する「(仮称)丹波篠山市子育て応援・親子あそびフェスティバル」を開催します。

## 施策の基本方向2

## 生きる力を培い創造性を伸ばす教育の推進

## 2-1 確かな学力の確立

#### ○主体的な学習習慣の育成 継続

主体的な学習習慣の育成をめざして、朝学習、放課後学習の充実を図ります。また、一人一台パソコンの学習環境や学習プリント配信システム、デジタルドリルなどを活用して、児童生徒が「自ら学ぶ」学習に取り組める環境整備を行います。

#### ○読書活動の充実 継続

学校図書館支援員をローテーションで各校に派遣し、「図書だより」を発行してお勧めの本を紹介したり、学校図書館の掲示を工夫したりするなど、読書活動の充実と活用しやすい学校図書館の環境整備を行います。また、中央図書館の団体貸出・配送を活用し、読書活動の充実を図ります。



児童による読み聞かせ

#### ○情報活用能力の育成 継続

教職員のICT活用指導力の向上や情報教育の充実を図るとともに、児童生徒が情報および情報手段を主体的に選択し、活用していくための能力を育みます。また、情報通信技術支援員を配置し、授業や研修を支援することで、ICTを活用した学力向上を研究します。

#### ○外国語教育の充実 継続

小学校では、外国語指導助手(ALT)や小学校外国語学習指導補助員(JTE)を活用し、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませます。3・4年生の外国語活動では音声中心の外国語を用いたコミュニケーションを図る素地となる資質・能力を養います。5・6年生の外国語科では「読むこと」「書くこと」を加えた言語活動を通じて、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を養います。中学校の外国語科(英語)では、外国語を用いて自らの考えや意見を述べるなど、コミュニケーションを図る資質・能力を育成します。



ALTとの交流

## 2-2 豊かな心の育成

### ○学校における人権教育の充実 **継続**

全ての教育活動を人権教育の視点で捉え、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる態度や資質を育成します。同和問題が人権問題の重要な柱であると捉えつつ、いじめ、インターネットによる人権侵害、性の多様性、ヤングケアラーなど、今日的かつ個別的な人権課題を年間の指導計画に位置づけ、学校の教育活動全体を通じて、人権教育を推進します。



手話の学習

### ○体験活動の充実 **継続**

小学3年生対象の「環境体験事業」や5年生対象の「自然学校」、中学1年生対象の「わくわくオーケストラ教室」、2年生対象の「トライやる・ウィーク」などの体験活動を通して、豊かな感性や創造性を高め、ふるさと意識を育むとともに自らのあり方や生き方を考えるきっかけになるよう主体性を尊重した活動を推進します。



茶摘み体験

### ○あいさつの実践 **継続**

日頃からあいさつが交わせる、明るく温かいまちづくり、学校づくりをめざし、学校・家庭・地域が連携した啓発・実践活動に継続して取り組みます。

## 2-3 健やかな体の育成

### ○体力・運動能力調査の実施 **継続**

児童生徒の体力・運動能力の実態と傾向の把握や分析を行い、体力・運動能力の向上に向けて児童生徒が主体的に取り組めるよう、計画的・継続的に実践する取り組みを推進し、生涯にわたりスポーツを楽しもうとする意欲の向上を図ります。



### ○部活動の新たな形に向けて **拡充**

部活動にかかる生徒、保護者との連絡調整や活動環境整備等の業務を行う「部活動推進員」、技術指導に加え試合や大会などを単独で引率できる「部活動指導員」、専門的な知識と技能を有し、スポーツ、音楽、美術などにおける活動の楽しさや段階的な指導を行う「部活動支援員」を配置し、部活動の充実と教職員の業務の負担軽減を図ります。また、休日の部活動の段階的な地域移行(学校部活動から地域部活動への転換)に向け、関係団体と連携し、地域の実情に応じた体制づくりを推進します。

## 2-4 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

### ○キャリア教育の推進 **継続**

各教科や児童会・生徒会活動、学校行事等を通じた社会参画への意欲・態度などの育成や保護者や地域の人々、関係機関などと連携した多様な体験活動、中学2年生を対象に自らの生き方や将来について考える事業「夢プラン」の実施などの教育活動全体を通じ、組織的、系統的に社会的・職業的に自立し社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育みます。



農業体験学習

### ○小中連携心のサポート事業の実施 **継続**

児童生徒が小学校から中学校への環境の変化に対応できるよう、児童生徒の交流を推進します。また、いじめなどの問題行動や不登校、学習規律などについて組織的な対応を強化します。



小・中連携合同研修会

## 2-5 特別支援教育の充実

### ○障がいのある子どもたちへの合理的配慮の提供 **継続**

障がいのある子どもが、障がいのない子どもと平等に人権を享受し行使できるように、一人ひとりの特徴や場面に応じて発生する障がい・困難さを取り除くための個別の調整や変更を実施します。そのために必要となる教職員などを対象とした研修会の実施および基礎的環境整備を進めます。



授業のユニバーサルデザイン化研修

### ○医療的ケア児支援事業の充実 **継続**

篠山養護学校および市内学校園に在籍する医療的ケア対象幼児児童生徒が安全・安心に学校園での生活を送れるよう、看護師の配置や看護師への指導および助言を行う指導医の委嘱などの体制を構築し、子どもたちの可能性を最大限に発揮させ、将来の自立や社会参加のために必要な力を育みます。

### 施策の基本方向3

## 子どもの学びを支える環境づくりの推進

## 3-1 安全安心で質の高い学習環境の整備

### ○地域に信頼される安全で安心な学校園づくり **継続**

安全管理、安全教育および組織活動からなる学校園安全計画など、各種マニュアルに基づく訓練や研修、施設の安全点検を通して、事故の未然防止、救急対応に係る校内体制を充実させます。また、関係機関と情報の共有化を図り、家庭・地域と連携した安全で安心な教育環境づくりを推進します。



消防署を招いての訓練

### ○安全安心な通園・通学環境の整備 **継続**

学校安全指導員の配置、通学路点検、自転車保険への加入推進など、学校・家庭・地域・関係機関が連携しながら、安全で安心な通学環境づくりに努めます。



交通安全教室

### ○防災教育・防災体制の充実 **継続**

各教科や道徳科、総合的な学習の時間等に、体験活動などを通して、防災・減災の意識高揚を図るとともに、災害から自らの生命を守るために主体的に行動する力を育む防災教育を進めます。火災・大雨・地震などのさまざまな場面を想定した防災訓練を行い、自分の身を守るための知識や技能、判断力を養えるように工夫した指導を行います。

### ○学校園水泳における市施設の活用 **拡充**

一部の小学校・幼稚園の水泳・水遊びを西紀運動公園で実施します。インストラクターと教員によるチームティーチングを行い、学習効果を高めるとともに、安全な学習環境を確保します。



火災避難訓練

### ○GIGAスクール構想における学びの充実 **継続**

デジタル教科書やデジタル教材を効果的に活用した授業づくりなど、児童生徒一人一台パソコンの環境におけるICTの効果的な活用を一層促進します。また、遠隔教育システムを活用し、多様性のある学習環境や専門性の高い教師による授業、個に応じた指導など、児童生徒の学びの質の向上を図れるよう支援します。



西紀運動公園での水泳授業

## 3-2 地域とともにある学校づくり

### ○コミュニティ・スクールの推進 拡充

幼稚園、認定こども園にも学校運営協議会制度を順次導入し、学校園、保護者、地域住民などが熟議(熟慮と討議)と協働を通して課題を共有、目標・ビジョンを持って、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校園づくり」に取り組みます。



学校運営協議会

## 3-4 教職員の資質能力の向上

### ○いじめの防止等への的確な対応 継続

いじめは「どの子どもにも、どの学校にも起こり得る」ことを踏まえ、学校、家庭、地域が一体となって、未然防止や早期発見、早期対応に取り組みます。また、人権教育や道徳教育、体験活動、特別活動などの充実を図り、子どもたちの望ましい人間関係を基盤に、豊かな心を育みます。

### ○不登校の支援と未然防止への対応 拡充

「魅力あるよりよい学校づくり」を軸とした居場所づくりの充実に努めます。令和6年度には、落ち着いた空間で学習支援や生活支援を行う「校内サポートルーム」設置を拡充します。また、小さな心のSOSを見逃さず、関係機関や心の専門家と連携しながら「チーム学校」で支援し、不登校の未然防止、早期対応に努めます。

### ○教職員の勤務時間適正化および業務の効率化の推進 拡充

教職員が心身ともに健康を保ちながら、児童生徒一人ひとりと向き合える働きやすい職場づくりを進めるため、校務支援システムの導入やスクールサポートスタッフの増員など、教職員の業務の効率化と業務負担の軽減を図り、勤務時間の適正化を進めます。

### ○丹波篠山市教育研究所の取り組み 継続

「未来の丹波篠山市を支える教育の新しい価値の創造」をめざして、学校園教育を一層充実させ、一人ひとりの教育関係職員の資質向上を図ります。「確かな学力」の向上をめざして、子どもたちの資質・能力の育成を基盤とした教育活動を展開できるよう調査・研究と研修を推進します。



学校園経営研修会

## 3-5 保幼小中高大の連携

### ○保幼小連携の推進 継続

私立も含め、保育園・幼稚園・こども園の保育内容、指導方法などについての情報交換を行うなど、連携を図り、幼児期の教育を充実させます。

### ○幼小連携の強化 継続

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続をめざし、地域や各園の実情に応じたアプローチカリキュラム(幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされてつながるように工夫された5歳児のカリキュラム)とスタートカリキュラム(小学校に入学した1年生が、園での遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム)を活用し、幼稚園・こども園と小学校の連携の充実を図ります。



園児と小学校、一緒に玉ねぎの収穫

## 施策の基本方向4

## 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

## 4-1 主体的に生きるための学びと場の充実

### ○「第2次丹波篠山市立図書館ビジョン」による図書館運営 継続

「第2次丹波篠山市立図書館ビジョン」に基づき、あらゆる世代に応じた図書館事業を推進します。

### ○市民センター図書コーナーと配本所の運営の充実 拡充

市内3高校生とともにYA世代(主として中学生、高校生世代)に向けた本をまとめたYAコーナーの運営に取り組み、中高生の読書活動推進や安心できる心の居場所づくりの充実を進めます。

### ○障がい者社会学級の運営支援 継続

障がい者の社会参加の大切な機会として、「くすの木学級(聴覚・言語障がい)」「青い鳥学級(視覚障がい)」の事業運営を支援します。

### ○外国人住民に対する学習支援 継続

NPO法人篠山国際理解センターに委託し、外国人住民を対象に充実した学習支援を実施します。

### ○丹波篠山市史編さん事業 拡充

歴史資料を収集・整理・調査しながら、専門分野ごとの部会の運営などを進める必要があることから、編さん体制のさらなる整備および作業から資料保管までを一体的に行うため、市史編さん室を「市史編さん課」へ昇格させ、事務所および資料保管庫を中央図書館から西紀支所に移転します。



としょかんまつり・夏休み中の子ども1日図書館員



日本語教室「うりぼう」



学生と市民が参加した近世部会調査

## 4-2 スポーツの推進

### ○丹波篠山ABCマラソンの開催 継続

関係機関との連携を図り、安全安心で魅力ある丹波篠山ABCマラソンに取り組みます。



### ○TAMBASAYAMAライジングスター育成事業の推進 継続

将来を担う子どもたちが各競技のトップアスリートとふれあい「夢と希望」を与える取り組みを実施します。12月14日(土)に日本トップリーグ連携機構主催のSOMPOボールゲームフェスタ2024in丹波篠山を開催、プロバスケットボールの神戸ストークス、プロサッカーのヴィッセル神戸と連携し、スポーツ教室を実施します。



ヴィッセル神戸サッカー教室

## 4-3 文化財と町並みの保存と活用

### ○重要伝統的建造物群保存地区における町並みの保存と活用 継続

保存地区(篠山・福住)の環境整備と歴史的風致の向上を地区住民と連携しながら進めます。篠山地区選定20周年記念フォーラムを11月に開催します。

### ○篠山春日能の充実 継続

国重要有形文化財春日神社能舞台修理工事の完成を記念して、9月に篠山春日能を開催します。



全国伝統的建造物群保存地区協議会 丹波篠山市大倉